

管内地域銀行の平成31年3月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益や役務取引等利益の減少等により、前年同期に比べ4.82%の減益。
- 当期純利益は、与信関係費用の増加等により、前年同期に比べ15.52%の減益。

(単位：億円)

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	13,606	13,337	13,037	▲300	▲2.25%
資金利益	11,378	11,297	10,958	▲338	▲2.99%
役務取引等利益	1,774	2,003	1,965	▲38	▲1.91%
債券等関係損益	▲19	▲290	▲106	+184	+63.42%
うち、債券等償却(※)	▲6	▲1	▲14	▲12	▲654.59%
経費(※)	▲8,931	▲8,846	▲8,762	+84	+0.95%
実質業務純益	4,674	4,490	4,274	▲216	▲4.82%
与信関係費用(※)	▲280	▲343	▲821	▲478	▲139.27%
株式等関係損益	464	851	674	▲177	▲20.84%
うち、株式等償却(※)	▲6	▲7	▲33	▲26	▲385.57%
当期純利益	3,421	3,429	2,896	▲532	▲15.52%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金(末残)	101.7兆円	104.8兆円	107.1兆円	+2.3兆円	+2.23%
貸出金(末残)	75.7兆円	78.3兆円	80.7兆円	+2.3兆円	+3.02%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比
不良債権額	13,921億円	12,952億円	12,672億円	▲280億円
不良債権比率	1.82%	1.63%	1.55%	▲0.08ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 国際統一基準行の総自己資本比率は、前年同期に比べ低下。
- 国内基準行の自己資本比率は、前年同期に比べ上昇。

(国際統一基準行：4行)

(国内基準行：30年3月期19行、31年3月期18行)

	30年3月期	31年3月期	前年同期比
総自己資本比率	13.86%	13.78%	▲0.08ポイント
Tier1比率	13.35%	13.14%	▲0.21ポイント
普通株式等Tier1比率	13.35%	13.14%	▲0.21ポイント

	30年3月期	31年3月期	前年同期比
自己資本比率	9.70%	9.72%	+0.02ポイント

(注1) 管内地域銀行の集計対象は22行(地方銀行13行、第二地方銀行8行及び埼玉りそな銀行)。30年3月期以前は23行。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各行の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】
関東財務局理財部 金融監督第1課
TEL 048-600-1145

管内信用金庫の平成31年3月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、債券等関係損益が減少したものの、資金利益の増加や経費の減少等により、前年同期に比べ2.39%の増益。
- 当期純利益は、与信関係費用の増加等により、前年同期に比べ4.57%の減益。

(単位：億円)

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	6,298	6,156	6,089	▲67	▲1.09%
資金利益	5,846	5,830	5,865	+34	+0.59%
役務取引等利益	275	263	261	▲2	▲0.80%
債券等関係損益	184	82	8	▲74	▲90.13%
うち、債券等償却(※)	▲1	▲2	▲0	▲1	▲82.93%
経費(※)	▲5,071	▲5,008	▲4,913	+94	+1.89%
実質業務純益	1,227	1,148	1,175	+27	+2.39%
与信関係費用(※)	▲240	▲222	▲274	▲52	▲23.55%
株式等関係損益	112	134	91	▲43	▲32.32%
うち、株式等償却(※)	▲1	▲0	▲2	▲2	▲6,590%
当期純利益	866	828	790	▲37	▲4.57%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金(末残)	49.8兆円	50.8兆円	51.6兆円	+0.7兆円	+1.49%
貸出金(末残)	25.7兆円	26.6兆円	27.1兆円	+0.5兆円	+2.03%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比
不良債権額	11,766億円	11,022億円	10,626億円	▲395億円
不良債権比率	4.55%	4.12%	3.88%	▲0.24ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は、貸出金の増加を主因とするリスクアセットの増加等により、前年同期に比べ低下。

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比
自己資本比率	10.57%	10.28%	10.07%	▲0.21ポイント

(注1) 管内信用金庫の集計対象は72金庫。
(注2) 計数は単体ベース。
(注3) 今後、各金庫の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】

関東財務局理財部 金融監督第2課

TEL 048-600-1148

管内信用組合の平成31年3月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益の増加等により、前年同期に比べ15.12%の増益。
- 当期純利益は、与信関係費用の増加等により、前年同期に比べ31.20%の減益。

(単位：億円)

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	1,168	1,147	1,176	+28	+2.50%
資金利益	1,102	1,120	1,139	+18	+1.68%
役務取引等利益	▲20	▲20	▲20	▲0	▲0.46%
債券等関係損益	73	35	43	+7	+22.33%
うち、債券等償却(※)	▲0	-	-	-	-
経費(※)	▲938	▲935	▲932	+3	+0.34%
実質業務純益	230	211	243	+32	+15.12%
与信関係費用(※)	▲47	▲48	▲151	▲102	▲209.30%
株式等関係損益	14	23	5	▲18	▲76.92%
うち、株式等償却(※)	▲0	▲0	▲1	▲1	▲222.90%
当期純利益	158	139	95	▲43	▲31.20%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金 (末残)	8.7兆円	8.9兆円	9.0兆円	+0.1兆円	+1.18%
貸出金 (末残)	4.3兆円	4.4兆円	4.6兆円	+0.1兆円	+3.07%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比
不良債権額	2,793億円	2,548億円	2,183億円	▲364億円
不良債権比率	6.47%	5.67%	4.72%	▲0.95ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は、貸出金の増加を主因とするリスクアセットの増加等により、前年同期に比べ低下。

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	前年同期比
自己資本比率	12.41%	11.92%	11.45%	▲0.47ポイント

(注1) 管内信用組合の集計対象は52組合。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各組合の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】

関東財務局理財部 金融監督第3課

TEL 048-600-1254